

見どころ案内

エビネ (ラン科)

杉の木の下にエビネを約650株ほど植栽しています。地中に偽鱗茎があり、これが横に連なっている形をエビの尾に見立てたことからエビネと呼ばれます。

ハマナシ (バラ科)

日本原産の野生バラで、ハマナスとも呼ばれます。山陰地方にも自生がありますが、知床旅情の歌のイメージが強く、北海道の花としてよく知られています。

ウンカリナ・ グランディ

ディエリ (ゴマ科)

マダガスカル原産。現地では、葉の粘液を洗髪に用いることから、別名はシャンプーの木と呼ばれます。

ジギタリス

(オオバコ科)

地中海沿岸～ヨーロッパ北部原産。花の形から別名はキツネノテブクロ。

ヒスイカズラ (マメ科)

フィリピン原産。宝石のように美しい、ヒスイ色の花が見頃。

アイランドポピー、ラナンキュラス

★大温室で見頃の花 ナンヨウザクラ、ラッセリア、コチョウラン、パフィオペディルム、カトレヤ、ヒメアリアケカズラ、ベニバナトケイソウ、カリアンドラ、ブーゲンビリア、ウコンラッパバナ、[カカオ、バナナ、レッドパイナップル、黄金ココヤシ、ココヤシ、ソーセイジノキ、コーヒー、パニラ(以上は果実)]



展示会のご案内

- ① 展示資料館 (4/15～6/7)
 - 特別企画展「牧野富太郎と広島」
- ② 展示温室 (4/22～4/25)
 - エビネ展
- ③ 屋外展示場 (4/22～4/26)
 - 春の山野草展

カザグルマ (キンポウゲ科)

10cmほどの白い大きな花が咲いています。クレマチスの原種となった植物です。

ネモフィラ (ムラサキ科)

北米原産の1年草で、花の色と葉の形から、和名は瑠璃唐草(るりからくさ)。今年も約6000株のお花畑ができました。(ネモフィラウィーク4月末まで)

フジ (マメ科)

ノダフジとも呼ばれ、ヤマフジとは別種です。約50mの藤棚が見頃になっています。

ヤマブキ (バラ科)

かわいらしい黄色の花を咲かせます。しなやかな枝が風に揺れる様子から「山振」と言われていたのに由来します。

ハンカチノキ (ミズキ科)

中国南西部原産。花びらがなく、白いハンカチのように見える部分は葉が変化した総苞片と呼ばれる部分になります。

